



Photostud

## THE FUCHU HIMBA STAKES

## 第73回 府中牝馬ステークス (GIII)

1着 本賞 38,000,000円 付加賞 490,000円  
2着 15,000,000円 140,000円  
3着 9,500,000円 70,000円  
4着 5,700,000円  
5着 3,800,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

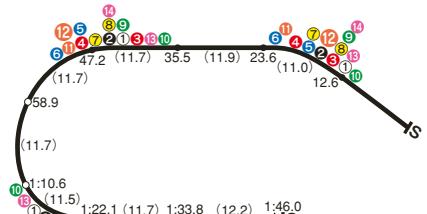
牝、3歳以上、2024.6.15以降2025.6.15まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 ハンデキャップ

2025.6.22 東京 晴・良 芝1800m (国際) (特指)

順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
						(着差)	通過順位	(600m)	(増減)				
1	12	セキトバイースト	牝4	55.5	浜中 俊	1:46.0	6-2-3	35.2	458(+2)	7.1(5)	四位洋文(栗東)	108	
2	7	カナテープ	牝6	53	大野拓弥	1	4-6-4	35.2	484(+12)	6.6(3)	堀 宣行(美浦)	101	
3	14	ラヴァンダ	牝4	54	岩田望来	1/2	8-7-7	35.0	488(+6)	5.8(2)	中村直也(栗東)	102	
4	1	ウンブライル	牝5	54	石川裕紀人	クビ	12-10-10	34.8	482(+6)	39.0(3)	木村哲也(美浦)	102	
5	11	タガノエルビーダ	牝4	54	田口大成	1/2	2-2-2	35.7	464(+6)	6.9(4)	斎藤崇史(栗東)		
6	6	エリカヴィータ	牝6	52	丸山元気	ハナ	1-1-1	35.8	486(+8)	190.0(3)	国枝 実(美浦)		
7	10	ワインエーデル	牝5	52	原 優介	1/2	14-14-14	34.6	452(-4)	22.8(8)	吉田直弘(栗東)		
8	13	カニキユル	牝4	52	戸崎圭太	1/2	12-13-13	34.9	506(-4)	3.4(1)	菊沢隆徳(美浦)		
9	8	ラヴエル	牝5	56.5	津村明秀	クビ	8-7-7	35.3	462(-4)	15.1(7)	矢作芳人(栗東)		
10	5	アスコルティアーモ	牝5	53	荻野 極	クビ	4-4-4	35.7	458(-6)	35.9(0)	林 徹(美浦)		
11	9	ミアネーク	牝4	55.5	M.ディー	1	8-10-10	35.4	482(-10)	11.2(6)	林 徹(美浦)		
12	2	シングザットソング	牝5	55	三浦皇成	1 1/2	6-7-7	35.8	450(-2)	25.2(10)	高野友和(栗東)		
13	3	グラスラムアスク	牝6	51	吉田 豊	1	8-12-10	35.8	458(-8)	99.3(3)	矢作芳人(栗東)		
14	4	フィールシンパシー	牝6	54	横山疏人	1/2	3-4-4	36.4	462(+6)	23.1(9)	小島茂之(美浦)		

単勝⑦10円(5%)\* 機動⑦260円(5%)\* ⑦230円(3%)\* ⑭190円(2%)\* 枠連⑤-⑦960円(4%)\*  
馬連⑦-⑭13,030円(11%)\* ワイド⑦-⑭1,050円(11%)\* ⑭1,4950円(8%)\* ⑭1,630円(4%)\*  
馬単⑦-⑭5,250円(20%)\* 3連複⑦-⑭1,050円(13%)\* 3連単⑦-⑭42,620円(120%)\*

5重複⑧⑭175,504円(3票) 対象競走：阪神10R／東京10R／函館11R／阪神11R／東京11R



通過タイム： 600m 800m 1000m 上り： 800m 600m  
通過タイム： 35.5 - 47.2 - 58.9 上り： 47.1 - 35.4

### アラカルト

- 浜中俊騎手は府中牝馬S初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算59勝目
- 四位洋文調教師は府中牝馬S初勝利。なお、騎手としても00年トウザヴィクトリーで本競走を制覇。騎手&調教師での勝利は野平祐二元調教師(騎手として6勝、調教師として2勝)以来2人のこと。JRA重賞は本年初勝利、通算5勝目
- デクラレーションオブウォー産駒はJRA重賞通算4勝目
- 4歳馬の勝利は24年ブレイディヴェークで続く通算32回目
- シングザットソングの菅原良明騎手は病気のため三浦皇成騎手に変更

# セキトバイースト *Sekitoba East*

牝 鹿毛 2021.1.30生  
北海道新ひだか町 タイハイ牧場生産  
馬主・TNレーシング 栗東・四位洋文厩舎  
馬名意味・赤兎馬+東

ペアフトレディIRE系 F1-m

デクラレーションオブウォーUSA Declaration of War 鹿毛 2009	War Front 鹿毛 2002	Danzig
		Starry Dreamer
ペアフトレディIRE Barefoot Lady 鹿毛 2008	Tempo West 栗毛 1999	Rahy
		Tempo
Footstepsinthesand 鹿毛 2002	Giant's Causeway	
	Glatisant	
Lady Angharad 鹿毛 1996	Tenby	
	Lavezza	

5代までのインブリード: Rahy S 3×M5 Northern Dancer S 4×M5  
Blushing Groom S 4×M5 Nijinsky S 5×M5

## INTERVIEW

八尾圭樹 ゼネラルマネージャー  
(タイハイ牧場)

### さらに強くなつた姿を見て驚きました

前走の内容が良かったので期待はしていましたが、今回さらに強くなつた姿を見て驚きました。生まれた頃から背が高く脚も長くて、きれいな馬という印象が強かったです。牧場時代から期待はしていましたが、それ以上の結果を残してくれています。今後は大きなレースに出る機会が増えると思いますが、自分の能力を発揮して無事に走ってくれることを願っています。



デクラレーションオブウォー産駒  
本馬は昨年、チューリップ賞2着  
3勝クラスを勝ち上がった後は中山牝  
馬S 12着、福島牝馬S 10着と大敗を重  
ねたが、前走の都大路Sでは中国から  
に粘り込んだ実績を持つ。今年1月に  
ユを決めた。

デクラレーションオブウォー産駒  
徐々に進出して完勝し、幅を増した脚  
質と、ひと皮むけた強さを印象付け  
いた。次位タイのハンデを背負い、正  
攻法で押し切ったこの日の走りは、本  
激戦の疲れを癒して臨む秋はさらに大  
きな舞台での活躍が見込めそうだ。

### 父デクラレーションオブウォーUSA

英、愛、仏、北米13戦7勝(インターナショナルS・英G1、クイーンアンS・英G1、ダイヤモンドS・愛G3、ヘリティジS・愛L、エクリプスS・英G12着、BCクラシック・米G13着、セサクスS・英G13着)、14年から愛、豪、米、日で供用(代表産駒)ヴァウアンドデクレア Vow and Declare(メルボルンC・豪G1)、ウォーニング Warning(ヴィクトリアダービー・豪G1)、オルメド Olmedo(仏2000ギニーG1)、グーフォ Gufo (ベルモントダービー招待S・米G1)、ファイアットウイル Fire At Will(BCジュベナイルターフ・米G1)、デコレーティドインヴェーダー Decorated Invader(サマーS・加G1)、ウイニングウェイズ Winning Ways(クイーンズランドオーカス・豪G1)、エレクトリックガール Electric Girl(ミリーフオックスS・豪G2)、ヴォヤージュワリア Voyage Warrior(香港スプリントC G2)、シルヴァーブロスペクター Silver Prospector(ケンタッキージョッキークラブS・米G2)、アーミーワイフUSA(ブラックアイドスザンS・米G2)、シランケド(中山牝馬S G1)、他に重賞勝ち馬多数

### 母ペアフトレディIRE

加、英、愛、仏20戦5勝(カナディアンS・加G2、ネルグウインS・英G3、リリックS・英L、ミュージドラS・英G32着、ロッキンガムS・英L2着、コロネーションS・英G13着、プリンセスエリザベスS・英G33着、ファースオブクライドS・英G33着)、13年輸入

アクロバットラン(14 牝父ディープインパクト)中央5戦0勝

アスタークーナ(15 牝父ディープインパクト)中央27戦2勝

ミスジャスミン(16 牝父オルフェーヴル)中央3戦0勝、地方55戦8勝

ムーンショット(17 牝父ディープインパクト)中央8戦1勝

マテンロウアレス(18 駆父ダイワメジャー)中央38戦2勝(筑後川特別)、地方2戦2勝

ダイユウバルキリー(19 牝父キズナ)中央2戦0勝、地方15戦0勝

タイセイラブソディ(20 牝父ドゥラメンテ)中央5戦0勝

セキトバイースト 本馬(21 牝父デクラレーションオブウォーUSA)中央14戦

4勝(府中牝馬S G1、都大路S・L、壇之浦S、チューリップ賞G2 2着、紅梅S・L 2着、ローズS G1 3着)獲得総賞金141,921,000円

ジョバンニ(22 牝父エピファネイア)中央7戦2勝(若葉S・L、ホープフルS G1 2着、京都2歳S G1 2着、野路菊S O 2着)④

ソルパッサー(23 牝父キズナ)④

(24 不受胎)

(25 牝父デクラレーションオブウォーUSA)

従来のマーメイドSを改称し、距離とコースも変更。6月の東京開催の最終週に組まれた府中牝馬Sは、ハンデ戦らしく重賞未勝利の面々が中心勢力を形成し、なかでも3勝クラスから上挑戦してきた力ニキユルが頭ひとつ抜けた支持を集めた。阪神牝馬Sの3着馬で同じく格上挑戦のラヴアンダ、同舞台の3勝クラス特別でアドマイヤマツリを差しきつた実績を持つカナティープがこれに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のセキトバイースト。重賞の舞台で好走を重ねてきた実力馬が初の勲章を手にした。主張して先手を奪った3年前のフローラSの覇者エリカヴィータが緩みの

一派がこれに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のセキトバイースト。重賞の舞台で好走を重ねてきた実力馬が初の勲章を手にした。主張して先手を奪った3年前のフローラSの覇者エリカヴィータが緩みの

従来のマーメイドSを改称し、距離とコースも変更。6月の東京開催の最終週に組まれた府中牝馬Sは、ハンデ戦らしく重賞未勝利の面々が中心勢力を形成し、なかでも3勝クラスから上挑戦してきた力ニキユルが頭ひとつ抜けた支持を集めた。阪神牝馬Sの3着馬で同じく格上挑戦のラヴアンダ、同舞台の3勝クラス特別でアドマイヤマツリを差しきつた実績を持つカナティープがこれに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のセキトバイースト。重賞の舞台で好走を重ねてきた実力馬が初の勲章を手にした。主張して先手を奪った3年前のフローラSの覇者エリカヴィータが緩みの

従来のマーメイドSを改称し、距離とコースも変更。6月の東京開催の最終週に組まれた府中牝馬Sは、ハンデ戦らしく重賞未勝利の面々が中心勢力を形成し、なかでも3勝クラスから上挑戦してきた力ニキユルが頭ひとつ抜けた支持を集めた。阪神牝馬Sの3着馬で同じく格上挑戦のラヴアンダ、同舞台の3勝クラス特別でアドマイヤマツリを差しきつた実績を持つカナティープがこれに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のセキトバイースト。重賞の舞台で好走を重ねてきた実力馬が初の勲章を手にした。主張して先手を奪った3年前のフローラSの覇者エリカヴィータが緩みの

好走を重ねた実力馬が初の勲章を掴む

従来のマーメイドSを改称し、距離とコースも変更。6月の東京開催の最終週に組まれた府中牝馬Sは、ハンデ戦らしく重賞未勝利の面々が中心勢力を形成し、なかでも3勝クラスから上挑戦してきた力ニキユルが頭ひとつ抜けた支持を集めた。阪神牝馬Sの3着馬で同じく格上挑戦のラヴアンダ、同舞台の3勝クラス特別でアドマイヤマツリを差しきつた実績を持つカナティープがこれに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のセキトバイースト。重賞の舞台で好走を重ねてきた実力馬が初の勲章を手にした。主張して先手を奪った3年前のフローラSの覇者エリカヴィータが緩みの

従来のマーメイドSを改称し、距離とコースも変更。6月の東京開催の最終週に組まれた府中牝馬Sは、ハンデ戦らしく重賞未勝利の面々が中心勢力を形成し、なかでも3勝クラスから上挑戦してきた力ニキユルが頭ひとつ抜けた支持を集めた。阪神牝馬Sの3着馬で同じく格上挑戦のラヴアンダ、同舞台の3勝クラス特別でアドマイヤマツリを差しきつた実績を持つカナティープがこれに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のセキトバイースト。重賞の舞台で好走を重ねてきた実力馬が初の勲章を手にした。主張して先手を奪った3年前のフローラSの覇者エリカヴィータが緩みの

従来のマーメイドSを改称し、距離とコースも変更。6月の東京開催の最終週に組まれた府中牝馬Sは、ハンデ戦らしく重賞未勝利の面々が中心勢力を形成し、なかでも3勝クラスから上挑戦してきた力ニキユルが頭ひとつ抜けた支持を集めた。阪神牝馬Sの3着馬で同じく格上挑戦のラヴアンダ、同舞台の3勝クラス特別でアドマイヤマツリを差しきつた実績を持つカナティープがこれに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のセキトバイースト。重賞の舞台で好走を重ねてきた実力馬が初の勲章を手にした。主張して先手を奪った3年前のフローラSの覇者エリカヴィータが緩みの